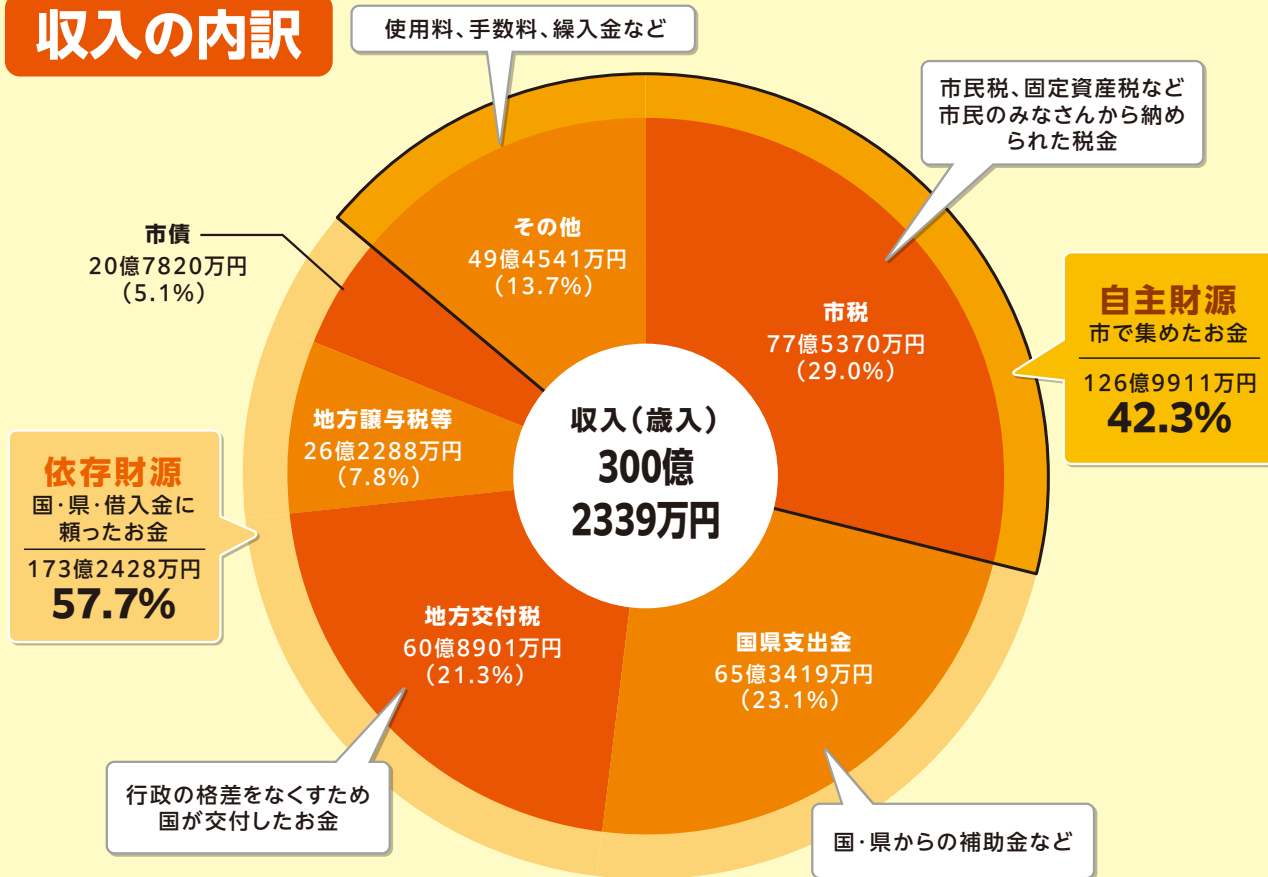


収入の内訳



高齢者福祉タクシー料金助成事業

Q 執行率が低くなっている理由は。

A 利用範囲の制限をなくしたことにより、利用率の増加を見込んでいたが、見込みほどの利用がなかった。チケット総利用枚数は9%ほど増加をしている。



▲タクシーチケット

重層的支援体制整備事業

Q 関わってきた事例の件数と解決した件数は。

A 全体の相談件数は50件。解決した件数は、こちらが自立したと判断したものが2件。

Q 担当者会議と支援会議の内容、2つの会議の関係は。会議の参加者は。

A 2つの会議の関係は、まず担当者会議は、ケースを持ち寄り、情報共有や支援方法の検討を行なう。支援会議は、担当者会議で検討されたケースで専門的、重層的な支援が必要なケースについて、支援の方向性を決める。

権利擁護支援センター

Q 相談件数と擁護センターができたことによる成果は。

A 相談の人数は、234人。延べ430件の相談があった。そして、実際に市長申立てが5件、親族申立てが10件、社会福祉協議会が行う日常生活自立支援事業が9件と、それぞれ周知が進み、制度を進める事ができたと認識している。

※重層的支援とは

子ども・高齢者・障がい者・生活困窮者等に支援が分かれており、複数



▲愛西市権利擁護支援センター